

# 平成24年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成23年8月15日

上場会社名 株式会社 ジー・ネットワークス

上場取引所 東

URL <a href="http://www.g-networks.jp">http://www.g-networks.jp</a> コード番号 7474

(氏名) 阿久津 貴史

代表者 (役職名)代表取締役社長 問合せ先責任者(役職名)管理本部長

(氏名) 小西 隆弘

TEL 0836-83-5511

四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

#### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利	J益	経常和	J益	四半期糾	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,684	△1.2	∆8	_	△12	_	△23	_
23年3月期第1四半期	1,704	△5.4	△13	_	Δ8	_	△112	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.98	_
23年3月期第1四半期	△4.77	_

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	5,238	2,647	50.5	112.27
23年3月期	5,245	2,670	50.9	113.24

(参考) 自己資本

24年3月期第1四半期 2.647百万円

23年3月期 2.670百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
23年3月期	_	0.00		0.00	0.00	
24年3月期	_					
24年3月期(予想)		0.00	_	0.00	0.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

# 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業和	引益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	3,609	3.0	40	185.0	30	18.4	0	_	0.00
通期	7,830	6.6	244	26.4	220	0.3	166	_	7.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

# (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	23,584,000 株	23年3月期	23,584,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,345 株	23年3月期	4,345 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	23,579,655 株	23年3月期1Q	23,580,400 株

# ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

スロー州レビュー・アールンスルで、ステンスが この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しており、四半期レビュー報告書を本日付けで受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「業績予想に関する定性情報」をご欄ください。

# ○添付資料の目次

1 .	当四	9半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する定性的情報	2
	(2)	財政状態に関する定性的情報	3
	(3)	業績予想に関する定性的情報	3
2.	四半	· 期財務諸表 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4
		四半期貸借対照表	4
	(2)	四半期損益計算書	
		第1四半期累計期間	6
	(3)	継続企業の前提に関する注記	7
	(4)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により企業の生産活動が低下、電力供給の制約等、景気悪化懸念を抱えた状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、東日本大震災の影響による宴会の自粛、北陸地方で発生した食中毒事件や原子力災害による風評被害の影響等、当業界をとりまく経営環境は引き続き厳しいものとなっております。

そのような環境下弊社におきましては、「安心・安全」を第一に経営管理体制の強化に徹底して取り組むと共に、変化するお客様のご要望にお応えすべく、業態・立地特性に合わせた様々な施策を行ってまいりました。特に経営資源を低価格日常食業態である「おむらいす亭」「長崎ちゃんめん」に集中し、更なる業態価値向上を図ることで、両業態を当社事業の大きな柱とすべく経営にあたって参りました。

以上の結果、売上高は1,684百万円(前年同四半期比1.2%減)となり、営業損失8百万円(前年同四半期は13百万円の営業損失)、経常損失12百万円(前年同四半期は8百万円の経常損失)、四半期純損失は23百万円(前年同四半期は112百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

#### ①外食事業

当事業年度におきましては、「おむらいす亭」と「長崎ちゃんめん」を主力成長業態と位置付け、同2業態の発展に注力するとともに、新規出店を継続的に行って参ります。

#### (おからいす亭)

おむらいす&パフェ専門店「おむらいす亭」につきましては、ネッカリッチ農法の「こだわり赤玉卵」を中心に有機たまねぎを使用したソースなど、安心・安全な「本物のおむらいす」を訴求した商品展開がお客様から引き続き支持されております。さらに、パフェメニューの充実により、幅広い時間帯においてお客様のニーズに応えられるようになったことにより業績も安定的に推移し、当四半期累計期間における売上高は前年同四半期比59.1%増となりました。

店舗数につきましては、平成23年4月度の2店舗の新規出店により当第1四半期会計期間末は41店舗(直営店舗19店舗・FC店舗22店舗)となりました。当事業年度中に更なる増店を計画しており、ショッピングセンター等商業施設を中心に100店舗体制の構築を目指して参ります。

#### (長埼ちゃんめん)

長埼ちゃんぽん専門店「長崎ちゃんめん」では、創業40周年を迎え、当社職人が中華鍋で調理する「熟練の技とこだわりの味」に益々研きをかけて参ります。当社オリジナルの「無添加スープ」に加え「国産野菜100%野菜たっぷりちゃんめん」等、安心・安全を訴求した商品展開がお客様から引き続き支持されており、当第1四半期累計期間における売上高は前年同四半期比2.4%増となりました。

「長崎ちゃんめん」では、平成23年4月にショッピングセンター展開用の戦略ブランドとして、店舗デザインを一新した「長崎ちゃんめん 十鉄」を立ち上げ、福岡イオンモール・ルクル店に出店いたしました。売上は堅調に推移しており、今後、同業態はロードサイドのみならず、ショッピングセンター等商業施設にも積極的に展開を図って参ります。

店舗数につきましては、平成23年4月度の1店舗の新規出店により当第1四半期会計期間末は42店舗(直営店舗27店舗・FC店舗15店舗)となりました。

# (その他外食)

一方「その他外食店舗」におきましては、当第1四半期累計期間においても前事業年度同様、運営業態の「選択」と「集中」を進め、居酒屋業態である「薩摩桜庵」2店舗を「とりあえず吾平」に転換する等、引き続き経営管理の効率化を図っております。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の直営店舗数は110店舗(前事業年度末より1店舗減)となり、売上高は1,392百万円(前年同四半期比5.9%減)となり、セグメント利益(営業利益)は44百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

### ②教育事業

教育事業につきましては、事業開始から4年目を迎え、運営体制も充実して安定的な経営基盤を確立しております。

生徒募集も好調に推移しており、売上高は163百万円(前年同四半期比7.2%増)、セグメント利益(営業利益)は7百万円(前年同四半期比33.9%増)となりました。

引き続き当社の安定収益事業として位置付け、運営の強化にあたって参ります。

#### ③食品加工事業

食品加工事業におきましては、「長崎ちゃんめん」のグランドメニュー変更による「餃子」売上が減となった 影響により、売上高は69百万円(前年同四半期比3.5%減)、セグメント利益(営業利益)は9百万円(前年同 四半期比11.0%増)となりました。

引き続き外販部門の新規販売先やインターネット通販などの新規販路拡充に努めてまいります。

#### ④その他の事業

当第1四半期会計期間より、新たに建築施工及び設備メンテナンス事業を開始しております。 売上高は58百万円となり、セグメント利益(営業利益)は5百万円となりました。 店舗施工の内製化のみならず外部からの受注獲得にも注力し、売上の拡大を図ってまいります。

#### (2)財政状態の定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は52億38百万円となり、前事業年度末と比較し6百万円減少しております。 負債総額は25億91百万円となり、前事業年度末と比較し16百万円増加しております。純資産は26億47百万円とな り、前事業年度末と比較し23百万円減少しております。その結果、自己資本比率は50.5%となり、前事業年度末と 比較し、0.4ポイント下落しております。

変動の主なものは、資産では現金及び預金の増加32百万円、負債では長短借入金の増加39百万円、純資産では 四半期純損失23百万円の計上による利益剰余金の減少であります。

#### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年5月16日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

# 4. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

(単位	ŕ.	千	四)
(=1/		- 1	-1

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	283, 452	315, 466
受取手形及び売掛金	192, 929	194, 471
商品及び製品	21, 770	30, 623
仕掛品	160	2, 062
原材料及び貯蔵品	65, 079	65, 254
その他	246, 598	286, 343
貸倒引当金	△8, 898	$\triangle 10,764$
流動資産合計	801, 091	883, 458
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1, 149, 301	1, 155, 859
土地	1, 632, 524	1, 632, 52
その他(純額)	208, 712	204, 363
有形固定資産合計	2, 990, 537	2, 992, 74
無形固定資産	47, 534	48, 62
投資その他の資産		
敷金及び保証金	961, 012	943, 50
その他	476, 058	385, 264
貸倒引当金	△30, 682	△14, 642
投資その他の資産合計	1, 406, 388	1, 314, 120
固定資産合計	4, 444, 460	4, 355, 494
資産合計	5, 245, 551	5, 238, 95
負債の部		
流動負債		
買掛金	191, 813	182, 64
短期借入金	200, 000	280, 000
1年内返済予定の長期借入金	557, 512	533, 76
未払法人税等	54, 232	17, 139
引当金	14, 293	7, 54
資産除去債務	3, 696	2, 28
その他	339, 389	351, 81
流動負債合計	1, 360, 936	1, 375, 200
固定負債		
長期借入金	1, 012, 500	996, 000
資産除去債務	120, 400	120, 97
その他	81, 502	99, 584
固定負債合計	1, 214, 403	1, 216, 559
負債合計	2, 575, 339	2, 591, 760

(単位:千円)

		(単位・1円)
	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 715, 000	1, 715, 000
資本剰余金	521, 970	521, 970
利益剰余金	433, 956	410, 937
自己株式	△714	△714
株主資本合計	2, 670, 211	2, 647, 193
純資産合計	2, 670, 211	2, 647, 193
負債純資産合計	5, 245, 551	5, 238, 953

# (2) 四半期損益計算書 (第1四半期累計期間)

(第1四半期累計期间)		(単位:千円)
	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1, 704, 843	1, 684, 611
売上原価	613, 791	639, 890
売上総利益	1,091,051	1, 044, 720
販売費及び一般管理費	1, 104, 403	1, 053, 043
営業損失(△)	△13, 351	△8, 322
営業外収益		
受取利息	899	858
受取配当金	301	259
不動産賃貸料	20, 113	19, 900
その他	15, 599	9, 639
営業外収益合計	36, 913	30, 658
営業外費用		
支払利息	7, 164	6, 172
不動産賃貸費用	21, 122	22, 094
その他	3, 910	6, 139
営業外費用合計	32, 197	34, 406
経常損失 (△)	△8, 635	△12,071
特別利益		
固定資産売却益	_	123
会員権売却益	_	909
貸倒引当金戻入額	328	
特別利益合計	328	1, 033
特別損失		
固定資産除却損	1, 311	1, 969
店舗閉鎖損失	3, 862	1, 288
減損損失	2, 978	_
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	66, 048	_
特別損失合計	74, 201	3, 257
税引前四半期純損失(△)	△82, 507	△14, 295
法人税、住民税及び事業税	10, 395	11, 618
法人税等調整額	19, 546	△2, 895
法人税等合計	29, 941	8, 722
四半期純損失(△)	△112 <b>,</b> 449	△23, 018

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。